45 01 09 01 03 002

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年06月25日（金）

事務事業	常備消防車両整備管理事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4515
第２次総合計画 行政分野別 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
第２次総合計画 行政分野別 中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり	根拠法令個別計画等	ＮＯｘ・ＰＭ法 埼玉県生活環境保全条例				
第２次総合計画 行政分野別 小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	近年複雑多様化する災害に対応するため、老朽車両を順次、最新の消防特殊車両へ更新することにより、火災等の災害に対応できる体制を整備するものである。また、災害時の安全性を確保するため、現在保有している常備消防車両の維持管理及び車検整備や定期点検を行い、故障原因を除去し、常時運行可能な状態を維持するものである。
目的 ※何のために	複雑多様化する災害に対応し、災害時被害の軽減をするとともに安全性を確保するため。
対象 ※誰・何を対象に	常備消防車両。
手段 ※どのように	最新の消防特殊車両への更新、維持管理及び車検整備する。 ※車両年次整備計画は令和１３年度まで策定されており、今後の社会情勢を見極め車両更新を実施する。
成果 ※何を求めるか	火災等の災害に対応できる体制を整備し、消防車両を常時運行可能な状態に維持する。
執行体制	■ 市職員　□ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	09	消防費	01	消防費	03	消防施設費	常備消防車両購入事業	180,189,360
一般会計	09	消防費	01	消防費	03	消防施設費	常備消防車両維持管理事業	18,411,994
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

- 常備消防車両等の更新
- 常備消防車両の維持管理
- 車検整備
- 消耗品の購入
- 梯子車保守点検
-

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画	深谷１、岡部１号車更新 救急藤沢１号車更新 花園２号車更新	藤沢１号車更新 救急豊里１号車更新	救急寄居１号車更新	深谷救助１号車	多目的消防自動車	上柴１号車、花園水槽１号車 救急花園１号車、深谷指揮２号車 本部査察車、川本、寄居連絡車
事業費 予算（現額）	168,422,000	103,826,000	53,146,000	199,663,000	125,602,000	175,675,000
事業費 決算額	167,038,260	102,670,909	51,646,423	198,601,354	0	0
財源内訳 国支出金	0	0	0	51,641,000	0	0
財源内訳 県支出金	0	0	6,478	0	0	0
財源内訳 地方債	144,300,000	78,900,000	31,300,000	52,600,000	0	0
財源内訳 他特定財源	6,694,000	6,776,000	6,587,000	8,221,000	29,611,000	0
財源内訳 一般財源	16,044,260	16,994,909	13,752,945	86,139,354	95,991,000	175,675,000
人件費 従事職員数（人）	0.95	0.95	0.75	0.95	0.75	0.75
人件費 人件費相当試算※１	7,390,050	7,392,900	5,895,750	7,729,200	6,102,000	6,102,000
人件費	0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）	174,428,310	110,063,809	57,542,173	206,330,554	131,704,000	181,777,000

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
■	活動指標１	車両更新率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		車両年次整備計画に基づき目標値を設定							
		更新台数／更新予定台数			４／４	２／２	１／１				
□	活動指標２	維持管理した常備消防車両台数	目標値	台	52.00	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00	□
			実績値		52.00	51.00	51.00	51.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		全常備消防車両を維持管理するため、常備消防車両数が目標値							
		常備消防車両の保有台数									
■	成果指標１	火災等の災害対応率	目標値	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	□
			実績値		100.00	100.00	100.00	100.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		火災等の災害に対し、対応することは消防の責務であるため、目標値は１００％							
		災害対応数／災害数									
□	成果指標２	車両トラブルにより災害に出動できなかった回数	目標値	回	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		各種災害へ出動し、対応することが責務のため、目標値は０							
		災害への出動不能回数									
■	効率指標１	１台あたりに係る車両の管理経費	目標値	千円							■
			実績値		3,354.39	2,158.11	1,128.28	4,045.69	2,582.43	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		法定点検車両台数の増減により、管理経費が変化するため、目標値が設定できない。							
		総事業費／常備車両台数									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	A	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 車両年次整備計画に基づき計画的に消防車両を更新した。車検整備、定期点検を適正に実施し、コストを意識した故障個所の修繕を実施した。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 各種災害から市民の生命、身体、財産を保護するために、消防車両を常時運行可能な状態に維持した。これにより、迅速かつ円滑な災害活動を実施した。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明 更新車両および法定点検の増減により、管理経費も変化するため、目標値は設定できない。

評価者	課長補佐兼警防企画係長　新井　俊光

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	複雑多様化する災害に対応するため、老朽化した車両を計画的に最新の消防車両へ更新し、保有している消防車両を適正に維持管理していくことで、市民の安全安心を確保していく。
達成状況 及び その効果	車両年次整備計画のとおり、救助工作車Ⅲ型及び高度資機材を更新し、迅速な災害対応、災害派遣体制を確保した。また、保有する消防車両状況を鑑みて車検整備や法定点検における消耗品等の交換や職員によるポンプ機能の整備や点検を実施し、適正に維持管理した。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	常備消防車両整備管理事業	担当課	警防課	担当係	警防企画係	管理番号	4515

- □ ① 現状のまま継続
- □ ② 見直して継続
- ■ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
- □ ④ 目的達成による終了
- □ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

各種災害が発生した時に対応する消防車両が故障等により機能しなければ市民生活に甚大な影響を与え、安全安心に暮らせる街づくりが保証されないため、老朽化の著しい消防車両の更新や適正な維持管理に努める必要がある。

評価者	次長兼警防課長　髙野　政之

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

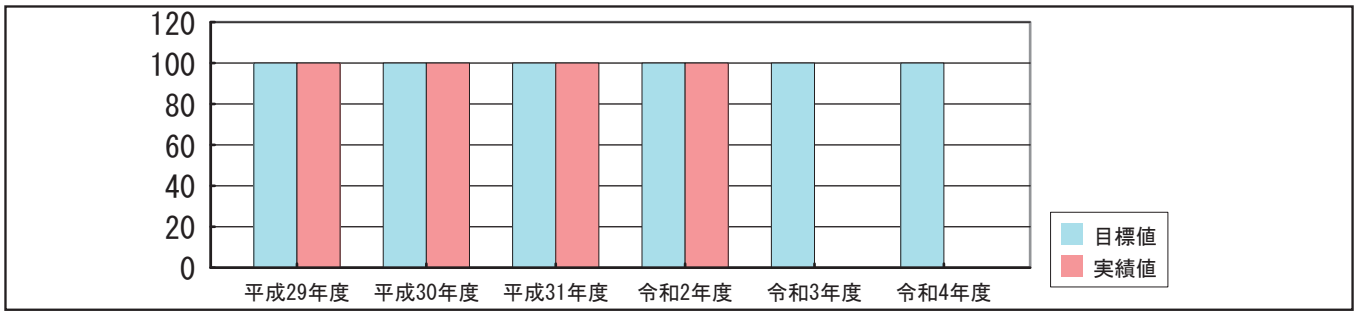
改善・改革案	複雑多様化する災害に的確に対応するため、老朽化した車両は車両年次整備計画に基づき最新の消防車両へ更新する。また、複合用途車両の導入による車両管理台数の削減、車両延長運用等の各種方策等についても随時検討し、保有している消防車両を適正に維持管理し市民の安全安心を確保する。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

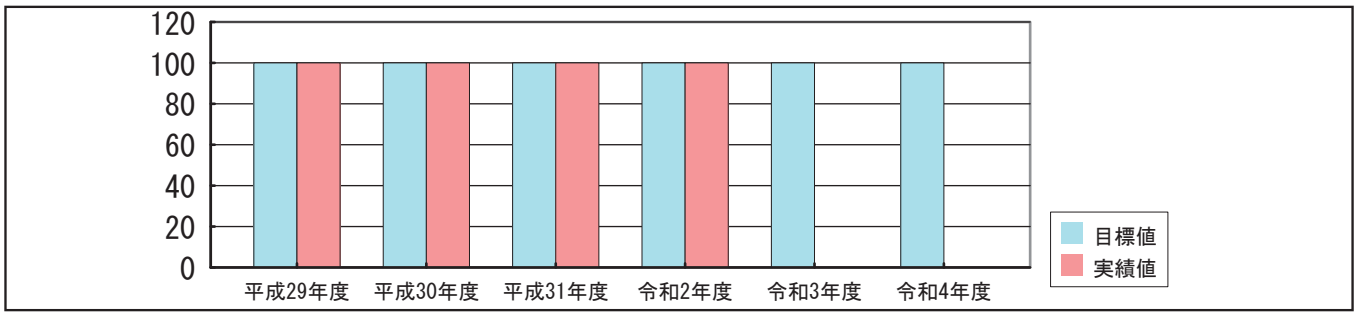
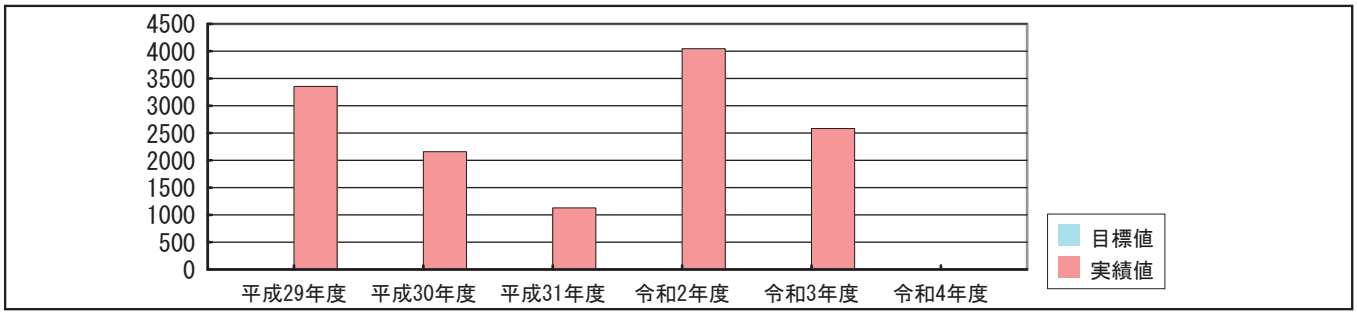
今後の課題	財政状況等を鑑み突出した財政負担とならないよう車両年次整備計画を定めているが、複雑多様化する災害に対し的確に対応していくためには、車両の不具合・故障等の状況を鑑み、老朽化した車両は最新の消防車両へ更新していく必要がある。また、車両延長運用等に伴う修繕費、車両配置換えに伴う車両動態表示（ＡＶＭ）、デジタル無線機の移設など、災害対応上必要な費用が増大する。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	車両更新率



区分	成果指標１	指標名	火災等の災害対応率



区分	効率指標１	指標名	１台あたりに係る車両の管理経費